

事務事業 No./名 称	□サービス部門 選挙-01 選挙事務 □支 援 部 門									
主管課	選挙管理委員会事務局					関連課				
分野名	市民自治									
目標 (目標値)	選挙管理委員会庶務の執行									
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考					
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
	事業の対象者数	149,342人	148,739人							
運営資源 状 況	決算値(千円)	2,844	2,800	7,680						
	(国・県)	74	162	5,023						
	(負担金等)									
	(一般財源)	2,770	2,638	2,657						
	人員配置数	0.4	0.23	0.1						
	人件費(千円)	3,396	3,125							
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	6,240	5,925	9,775						
	市民1人当 りの経費(円)	35	33	55						
	対象者1人 当りの経費(円)	42	40	66						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
選挙事務	2,844千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	□A ■B □C □D □E	
	事業の概要	選挙管理委員会の開催、庶務等				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	なし
課題解決のための取組	なし
未解決の課題	なし

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		公職選挙法等関連法規に則り、事務の効率化に配慮しながら、今後も適切な事務執行を行っていきたい。	↓ B 課長(代理) 宮田 好朗
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
選挙事務	主な個別事業	432 選挙管理委員会委員等報酬	2,293	2,293	■適切	□見直し余地あり
		432 選挙管理委員会委員補充員報酬	137	46	■適切	□見直し余地あり
		432 選挙管理委員会連合会等負担金	189	176	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり